



申15号 組合員の現実と声を第一とし、組合員と家族の生活を守るための 「2021年度年末手当等に関する」緊急再申し入れ 第1回、第2回団体交渉開催！ **その4**

改めて 申15号の満額回答を求める！

組合	<p>会社の持続的発展が社員への還元、労働条件の向上、社員・家族の幸福につながるの考えが述べられているが、労働者がいなければ会社の利益を生み出すことできない。組合員・社員の声に耳を傾け、労働条件の最たる賃金の増で生活・暮らしを守ることは会社の使命であり、モチベーションの向上につながり、会社の持続的発展、社員還元につながる我々は一貫して訴えてきた。</p> <p>そして、組合員・社員一人ひとりが安全・安定輸送を担い、変革のスピードアップ、各種施策に向き合い続けている。一人ひとりのたゆまぬ努力が業績を生み出している。前年比より運輸収入は増えているのに、2.0ヶ月という回答に、犠牲や我慢を強いられていると感じる。現場と経営側の感覚が乖離している。過去最高の働き度で過去最低の手当。会社に独り占めされている不信感、経営幹部の判断に危機感を覚えるとの声、本音を受け止めるべきだ。現実、実感、本音に答えなければ、閉塞的で硬直的な会社になるのではないか。人材流出を防ぐことから、組合員・社員の声を受け止め、申14号の回答を撤回し、満額回答を求める！</p>
会社	<p>個々の声を受け止めたいと思う。経営幹部も職場訪問で声を聞いているところで、前向きに頑張っていきたいという声もある。特定の声だけではなく受け止めているところだ。</p> <p>総合的に判断して回答してきた。会社の置かれている状況を理解していただきたい。国鉄改革を経て、完全民営化して自立して黒字を出していくことは、民間企業として当然のことである。成長して還元し、社員・家族の幸福につながる好循環が必要。</p> <p>一昨年前にコロナ流行は世界中が想定していなかった。去年は赤字が免れないところ。今年はコロナ回復前提で想定していたが、日本中が想定できない中での下方修正となった。融合と連携で様々な成長と発展で循環をつくり、取り戻していくことが重要だということを社員の皆さんに伝えていく。</p> <p>現状を良しとしてはいない。より良い状態とするための好循環が重要だ。</p> <p>申14号の回答撤回と満額回答を提起されたが、申14号の回答が最終回答である。</p>
組合	<p>好循環を取り戻すためには、労働者への投資をすべきだという主張は変わらない！組合員の雇用と利益を守るために、健全な経営基盤の構築に向き合ってきた！今もなお奮闘している職場の声を受け満額回答を求めてきた！</p> <p>しかし、要求は対立で、不満である！申15号に込められた職場現実と声を改めて重く受け止めるべきだ！</p>
会社	<p>好循環を取り戻すのは社員の力と会社も思っている。しかし、回答書にもあるが、当社は、依然として楽観の許されない極めて厳しい経営状況にある。様々な取り組みに向き合ってきたことも、一定の理解をしているところである。申14号の回答が最終回答になる。支給日を12月3日と回答している。支給実務に影響があるので、11月16日12時までに回答を求める。</p>

申14号「2021年度年末手当等に関する申し入れ」第3回団体交渉において「基準内賃金の2.0ヶ月」という回答が示されて以降、職場からは1,000件を超える怒りや不満の声が中央本部に寄せられました。申15号の団体交渉でその声を会社に突きつけましたが、会社は応えませんでした。よって、対立で交渉を終えました。

申15号交渉の議論内容を職場で議論しよう！